



福島市
FUKUSHIMA CITY

令和2年度

6月緊急会議補正予算（案）主な補正内容

1. 新型コロナウイルス関連 緊急支援策【第五弾】

2. 古関裕而記念館 駐車場整備費

補正予算額（一般会計）

8億3,413万2千円

単位:千円

事業費 合計	財源内訳			
	国	県	その他	一般財源
834,132	418,694	20,000	—	395,438

新型コロナウイルス関連 緊急支援策【第五弾】

支援策	時期	第一弾(3/23)	第二弾(4/9)	第三弾(4/22)
第1の柱 感染防止対策		<ul style="list-style-type: none"> ●保育所等へ不織布 マスク・消毒液等の 購入支援、または配布 ※小中学校への備蓄マスク 2万枚の配布 (3/27) 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域でマスクをつくって、学校応援プロジェクト 	<ul style="list-style-type: none"> ●医療機関への特別給付金の給付 ●医療資材の提供 ●PCR検査体制の強化 ●母子生活支援施設の感染症対策に係る改修費用の補助 ほか
第2の柱 市民生活支援		<ul style="list-style-type: none"> ●放課後児童クラブの運営費補助 ※保育料の減額(3/4) ※相談専用電話の設置(2/5) ※帰国者・接触者相談センターの設置(2/7) ※救急車全13台にウイルス活動を抑制するオゾン発生装置の設置(3/16以降順次) 	<ul style="list-style-type: none"> ※ICT教材を活用した学習支援(4/13以降随時更新) ※本庁1階に市独自の生活相談案内窓口の設置(4/17) 	<ul style="list-style-type: none"> ●特別定額給付金等の早期支給 ●市営住宅の入居支援 ●内定取消学生等に対する就職支援 ●児童生徒の学習支援の強化 ●放課後児童クラブの運営費補助 ●患者等への相談体制の強化 ほか
第3の柱 地域経済対策				
①事業者 緊急支援		<ul style="list-style-type: none"> ●信用保証料補助・利子補給 ●ピンチをチャンスにプロジェクト 	<ul style="list-style-type: none"> ●福島エールごはんプロジェクト ●旅館業への温泉使用料・水道料金の減免 	<ul style="list-style-type: none"> ●テナント飲食店舗への賃料の補助 ●自己所有飲食店舗への補助 ●市場使用料等の納付猶予
②地域経済 回復				

※印:第一弾から第三弾の発表期間前後に実施(決定)したもの

新型コロナウイルス関連 緊急支援策【第五弾】

支援策	時期	第四弾(5/21)	第五弾(6/22)
第1の柱 感染防止対策		<ul style="list-style-type: none"> ●第2波を想定した医療体制の充実 ●産後ケア事業を行う施設への衛生用品等の支援 ●ごみ収集事業者への衛生用品の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ●ICT導入による市内保育施設・幼稚園の「新しい生活様式」への対応支援 ●市有施設の感染防止対策の徹底
第2の柱 市民生活支援		<ul style="list-style-type: none"> ●ふくしま市民生活エールクーポン ●学生の臨時就労機会の創出 ●認可外保育施設利用者の支援 ●子ども食堂の支援 ●情報発信の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ●妊婦のPCR検査体制の整備 ●妊産婦へのオンライン保健相談会の実施 ●ひとり親世帯への臨時特別給付金の早期支給 ●住居確保給付金の追加
第3の柱 地域経済対策			
①事業者緊急支援		<ul style="list-style-type: none"> ●国給付金対象未満の事業者等への支援 ●公共交通事業者への支援 ●市場使用料の減免 ●就職活動マッチングの支援 	<ul style="list-style-type: none"> ●中心市街地へのテナント進出支援 ●信用保証料補助・利子補給の追加
②地域経済回復		<ul style="list-style-type: none"> ●新しい生活様式に対応したビジネスモデル創出への支援 ●イベント開催等を通じたにぎわいの回復 	<ul style="list-style-type: none"> ●GoToキャンペーンを見据えた観光プロモーションの強化

第五弾【6/22発表】

「新しい生活様式」の定着を進めながら、今後も気を緩めることなく、感染防止と社会経済活動の回復の両立を図るため、段階的に活動を拡大していく方針のもと、国や県の動向等を踏まえ、引き続き

1. 感染防止対策、2. 市民生活支援、3. 地域経済対策の3本の柱を軸に第五弾の緊急支援策を実施します。

第五弾では国の二次補正関連の支援策に加え、ICTを活用した支援策に力を入れるとともに、6/19に県をまたぐ移動制限が全面解除されたことを受けた観光プロモーションの実施により地域経済の早期回復に取り組みます。

【全体事業費】

10事業

単位:千円

事業費 合計	財源内訳			
	国	県	その他	一般財源
827,132	418,694	20,000	—	388,438

第1の柱 感染防止対策 2事業 71,483千円

(1)保育施設・幼稚園へのICT導入【市独自】 事業費:46,830千円

保護者との連絡や、登降園管理など、効率的に一元管理が行える運営支援システムを導入し、「新しい生活様式」への対応と利便性の向上、保育士の負担軽減を図ります。(10月から導入)
また、私立施設に対しては導入費用の3/4を補助します。

- ① 公立保育所・認定こども園:全14施設に導入
- ② 私立認可保育施設:1施設750千円を補助
(未導入の全25施設)
- ③ 私立認可外保育所:1施設150千円を補助
(未導入の全31施設)
- ④ 市立幼稚園:全10園にアプリの導入



(2)市有施設の新しい生活様式への対応【市独自】 事業費:24,653千円

- ① アルコール消毒と検温の徹底
- ② サーキュレーター等の配置等による換気対策 など



第2の柱 市民生活支援

4事業

410,605千円

(1)妊産婦の支援

①妊婦のPCR検査支援 事業費:45,000千円

市内の産科医療機関で出産する全ての方が無料でPCR検査を受けられる機会を提供し、安心して出産し、産前産後を過ごすことができるよう支援します。

②オンライン保健相談会の実施【市独自】 事業費:1,022千円

Web会議アプリを活用した医師と助産師による母親学級や、栄養士による離乳食相談会を開催し、安心して妊娠・出産・子育てが出来る環境づくりを支援します。(7月から開始)

(2)困窮者支援

①ひとり親世帯臨時特別給付金の早期給付 事業費:308,583千円

児童扶養手当を受給する世帯や、収入が基準以下に減少している世帯に対して、ひとり親世帯臨時特別給付金(1世帯当たり5万円、第2子以降1人につき3万円)をできる限り早期に給付します。

②住居確保給付金の追加 事業費:56,000千円

就労意欲がありながら、休職や離職等により住居を失うおそれがある世帯を対象に、家賃相当額を支給し、住まいと就労機会の確保を支援します。

(原則3カ月・9カ月限度)

第3の柱 地域経済対策 4事業 345,044千円

事業者緊急支援

(1) 中心市街地へのテナント進出支援

① リノベーション費用補助【市独自】 事業費:50,000千円

中合福島店の営業終了や「新しい生活様式」への対応のため、中心市街地の空き店舗に進出する事業者に対し、空き店舗リノベーション費用の2/3、最大200万円を補助します。

② 店舗家賃補助 事業費:40,000千円

中心市街地の空き店舗に移転したテナントに対し、県との協調補助制度により家賃を3年間補助します。

	1年目	2年目	3年目
補助率	2/3	1/2	1/3

(毎月の賃料30万円上限)

(2) 制度融資資金信用保証料補助・利子補給【市独自】 事業費:219,044千円

県の緊急経済対策資金融資制度利用者に対し、信用保証料と利子相当額(当初2年間)を補助し、中小企業の経営安定化を支援します。

(融資総額50億円分 ⇒ 融資総額114億円分)

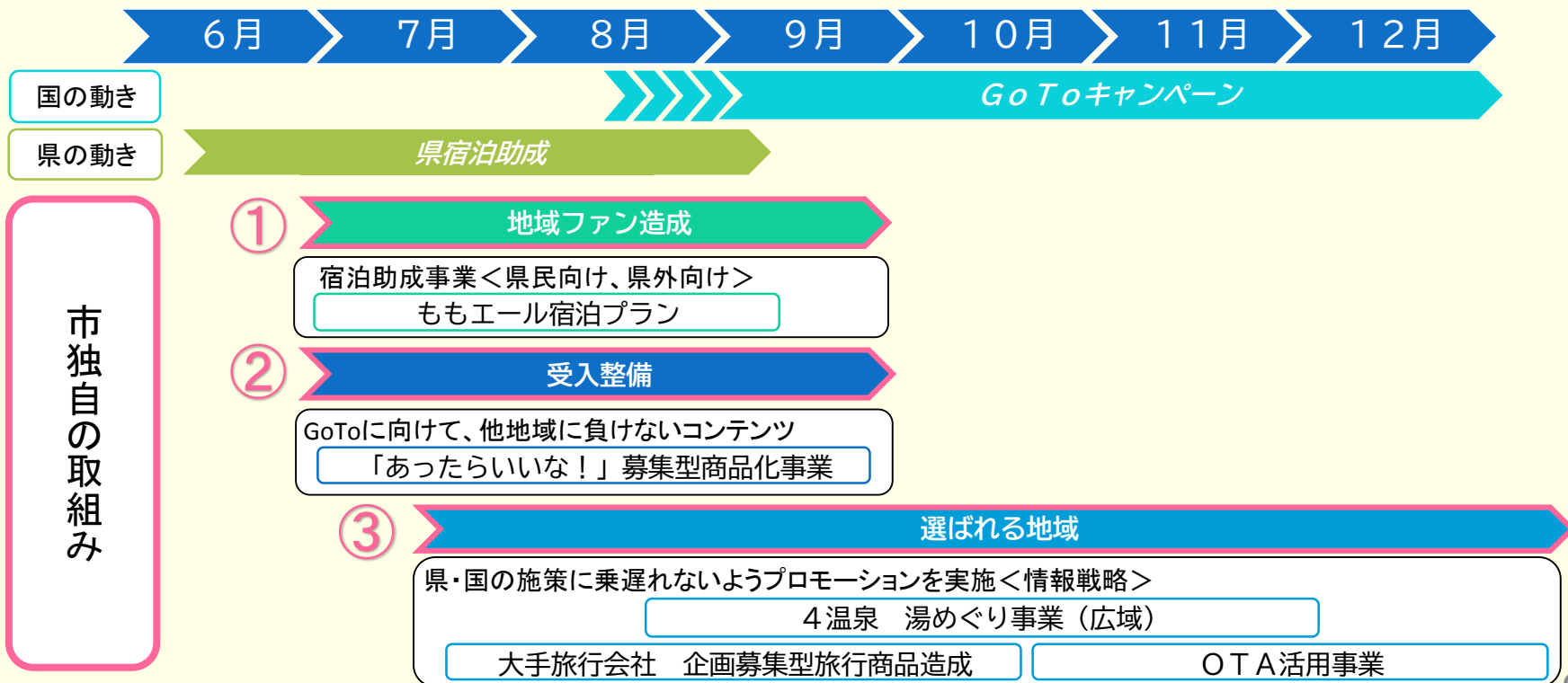
※国による資金繰り支援策の拡充をふまえ、5月29日(金)金融機関受付分までで終了しています。

地域経済回復

(1)ふくしまに「こらんしょ」キャンペーン【市独自】 事業費:36,000千円

県の県内宿泊助成や国の「GoToキャンペーン」の実施に合わせ、新たな旅行商品の開発や観光プロモーションを効果的に行い、地域経済の回復につなげます。

- ①ふくしまの「桃」+「温泉」のファン造成事業
- ②全国から「こんなものあったらいいな！」を募集する商品開発事業
- ③大手旅行会社やオンライントラベル エージェントと連携した誘客事業

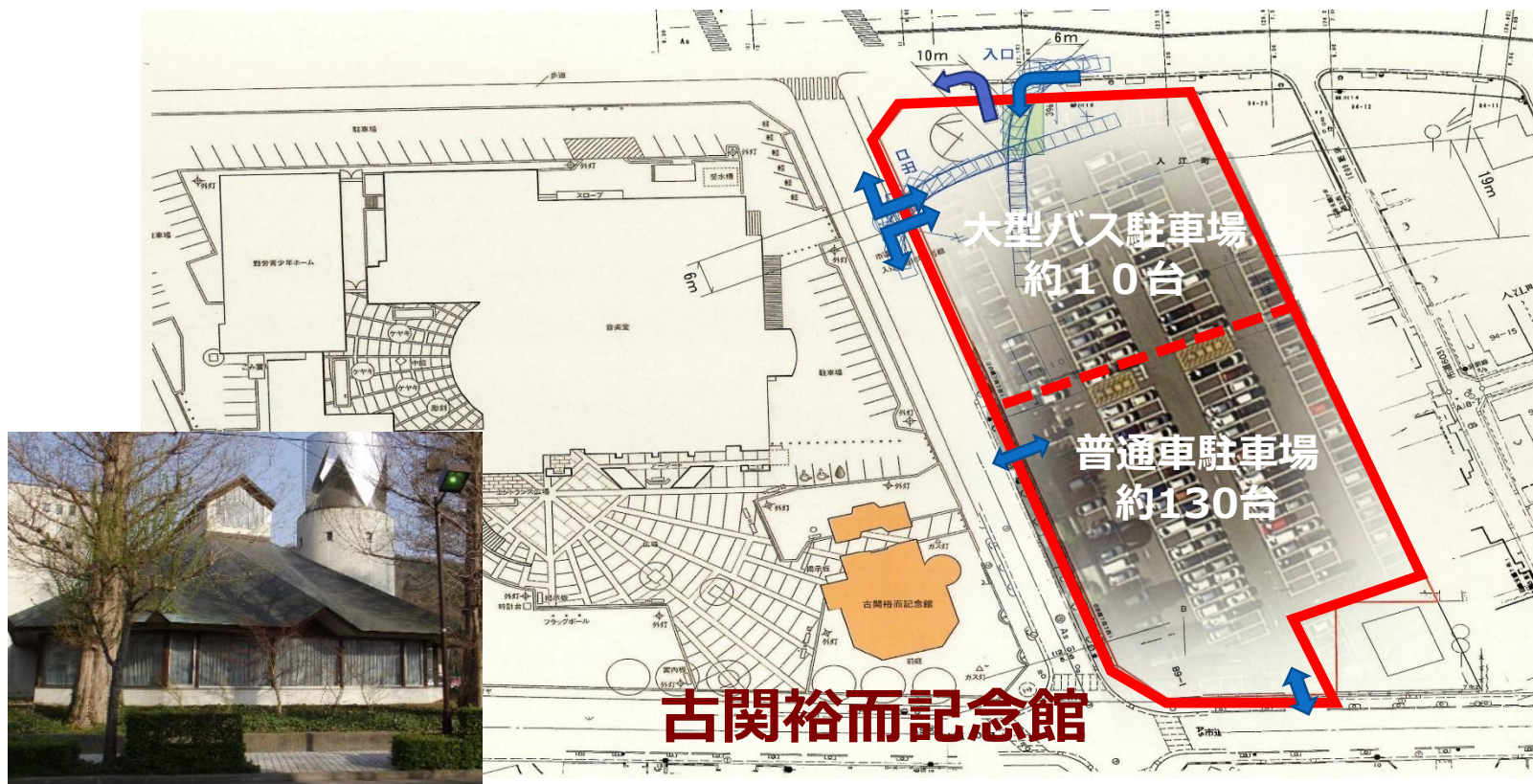


2. 古関裕而記念館 駐車場整備費

補正額 7,000千円

「古関裕而のまち・ふくしま」への取り組みとして、記念館隣接地に新たな駐車場用地を取得・整備し、連続テレビ小説「エール」の放映を契機として増加が見込まれる来訪者の受け入れ体制の強化を図ります。

※駐車場用地は土地開発基金で取得し、補正予算は駐車場進入路の工事費を計上。



※緊急時は指定避難場所として活用予定